

もっと現場を知る！職員短期派遣研修報告書

所属名	企業局東部事務所	氏名	豊田宏司
派遣先 団体名	特定非営利活動法人 さくらおろち		

① 研修の日時

平成25年 9月17日(火)～19日(木) 3日間
 平成25年10月 1日(火)～ 3日(木) 3日間
 平成25年10月11日(金)～14日(月) 4日間 (計10日間)

② 研修の内容

この研修では、平成25年10月13日(日)に行われた「2013尾原ダム・さくらおろち湖祭り」を主催する実行委員会事務局の準備スタッフとして2名で参加し、次の活動をしました。

■平成25年 9月17日(火)～19日(木)

【チラシ仕分け作業】

さくらおろち湖祭りのチラシを雲南市・奥出雲町全戸配布するため、自治会毎に仕分ける作業を行いました。

雲南市(旧大東町、加茂町、旧木次町、旧三刀屋町、旧吉田町、旧掛合町)、奥出雲町(旧仁多町、旧横田町)合わせて約1万8千世帯分のチラシを自治会の組毎の世帯数に仕分けしました。



各世帯数に応じてチラシを紙帯で束ねます



木次交流センターには既にたくさんの配布物が分けられていました。

仕分けしたチラシは、各地区の交流センター(旧公民館)に持ち込み、組毎に分けられたコンテナ内の封筒に入れておきます。その後、他の配布物と一緒に各世帯に届けられます。

【ダム湖面清掃活動】

9月17日は、山根主事が尾原ダムに流入した流木回収作業のお手伝いをしました。尾原ダムは「地域に開かれたダム」としてダム湖面を公認のボート競技施設として整備しており、積極的に湖面利用されています。週末などにボートの練習や大会などがある場合は、前もって湖面の状態を良好にしておかなければなりません。

(週末には県内高校ボート部の練習会がありました)



8月下旬の大雨により湖面には多くの流木が浮いていました。これがかなりの重労働でした。

■平成25年10月1日(火)～2日(水)

【ボート競技施設(艇庫内)清掃】

尾原ダムにある艇庫内の会議室、管理室は祭り当日、ステージイベント出演者の控え室として使用するため、室内清掃に併せて更衣室、トイレ掃除なども行いました。



来場者の方に気持ちよく使って頂くため熱心に掃除しました。



ボート競技施設は平成23年9月に島根県(雲南県土整備事務所)が整備し、管理主体となっています。艇庫内には整然とボート(シングルスカルなど)が並んでいました。

【会場案内チラシ作成他】

来場者配布用の会場案内チラシ(原案)の作成や、関係者駐車許可証の作成などの作業を行いました。

■平成25年10月3日(木)

【会場案内看板の作成】

この日は祭りの主会場への案内看板(12枚)を作成しました。文字が印刷された厚紙を看板に貼り付けるという作業です。厚紙は来年以降も使えるよう縁をテープ補強した上、雨に濡れても大丈夫のように看板全体にビニールをかけるなどの工夫をしました。



しわができないように。矢印の向きは間違えないように…。

■平成25年10月11日(金)～12日(土)

【準備品の搬出作業他】

倉庫に保管してあるテント、机、椅子等の運び出し作業や、祭りの幟旗を要所に設置する作業を行いました。



幟を立てるだけでもお祭りの雰囲気があります。

【会場設営作業】



これが思っていた以上に大変でした。

会場案内看板の設置、テント設営、来場者駐車場の区画線引きなどの作業を行いました。

駐車場の線引きは、運動会などで見かける「ラインカー」を使い、100mのラインテープに沿って、来場者駐車場の区画線を何本も引きました。



メイン会場の準備も整い、あとは明日の本番を待つのみとなりました！。

■平成25年10月13日(日)

【祭り当日の受付、案内等】

今回研修に参加した2名のうち、山根主事はステージイベントの出演者対応を、私は主会場とは離れた場所で行われたホースセラピー体験の会場に参加者の受付、案内などを行いました。

当日は雲ひとつない快晴の中、主会場を中心に各種催しが行われました。様々なステージイベントや、松江市・雲南市・奥出雲町内から合計30店舗が出展したテント村、また同時開催された玉子料理の食べ比べする「エッグフェスティバル」にも多くの来場者が列を作っていました。



木次中学校吹奏楽部の演奏♪



加茂町出身のシンガーソングライター
中林知香さんの歌声にうっとり。



天候に恵まれ多くの方がお祭りに来てくれました。

また、ダム湖面を活用したシーカヤック体験や、親子連れなどが馬に乗ったり、お世話などをするホースセラピー体験、ダムマニアの方々が集った「Damサミット」など多彩な催しに、約5000の方が訪れました。



湖面を自由に漕いで楽しそう
でした。



馬と気持ちが通い合わせること
ができたかな？



Dam サミットでは活発な意見
交換が行われました。

③ 研修の感想

今回、研修に参加させて頂いた「NPO法人さくらおろち」では、年間を通じて様々な活動をしておられました。ボート競技、サイクリング、ウォーキング、マラソン大会、トレイルランなど、ダム湖周辺の立地特性を活かした各種スポーツイベントのサポートに始まり、県外在住者向けに自然体験、農業体験などをして水源地域の魅力を感じてもらう「田舎暮らし体験ツアー」や、地域に伝わる「食」のスタイルと技をダム湖周辺住民が下流域住民に伝える「尾原ダム上下流交流事業」、さらに流域内の企業が実施するCSR活動と連携したダム周辺の環境美化活動など、その活動範囲は多岐にわたっていました。また、水源地域の魅力をサイトや「Facebook」や「twitter」を用いて情報発信にも力を入れておられるようでした。

これらの活動を継続させるためには、他のNPO法人にも見られるような資金面、人材確保の問題の他、関係する官公庁はもとより水源地域内の住民又は地域自主組織や自治会との連携、「人とのコミュニケーション」が非常に重要だと改めて感じさせられました。

今回、この研修に初めて参加させていただきましたが、日々の業務の中ではできない貴重な経験をすることができ、大変有意義な研修でした。

最後に、短い期間ではありましたが、研修を受け入れて下さいましたNPO法人さくらおろちの皆様へ深く感謝申し上げます。

④ その他特記事項